那須の花
センブリ（千振）
秋口、分譲地内でも、白いかわいい花を見かけます。日本古来の生薬としてお馴染みで、渋腹のときに飲んだ方もあろうか。千回煎じてもまだ苦いというのがその名の由来。道の駅などで干したものを売っていることも。

那須の風

平成２１年　秋号
発行　　東豊開発株式会社
栃木県那須郡那須町大字高久乙
http://www.touho.jp

紅葉まつり

10／24（土）・25（日）
午前10時30分～
午後1時30分
守子の郷イベント広場

同時開催：建築/リフォーム相談会

住まいに関する諸々のご相談や、冬支度はじめ、お庭まわりのことなど、ご気軽にお尋ね下さい。

「まつり」に協力して下さる皆さんが腕にヨリをかけ繰出すアジなメニューがお楽しみです。食材に限りがありますので、完食の際はご容赦ください。

那須日和、風澄み深呼吸

このところ満開が十月にずれ込んでいた箒沢のヒガンバナ。今年は、秋の彼岸に合わせて見事な花盛りとなりました。

カラ梅雨気味のうち暑さもつかの間、お盆過ぎには早々と秋雨を思わせる長雨。閏月があったせいではないでしょうが、気象・気候の変動に戸惑いを隠せません。世は常ならずとはいえ、おおらかなリズム感のある季節の移ろい、失ってはいけない自然の恵みに思いをめぐらすことが多くなったような気がします。

道の駅伊王野 H21.9.16

管理事務所から

冬に備え、水道の水抜

本格的な寒波襲来の前に、水道の水抜きをお忘れなく。水抜きは元栓締め、水抜栓の取り外しと、蛇口の開放が主な作業です。簡単な作業のようですが、各別荘の給湯機器や蛇口の型式、はたまた温水便座の有無など、一筋縄とは参りません。ご自身で作業される場合は細心の注意でお願いします。

夕方など冷え込む時間帯の作業は避けましょう。管内に残った水分が抜け切る前に凍結、事故になるケースが少なくありません。

気になる樹をチェック

ここ数年、季節を問わず、突風や大風の被害が頻発しています。冬から春にかけては、特に那須下ろしのきつくなる時季になります。建物廻りに置かれた物が飛ばされたり、枝折れや、樹木が倒れることも珍しくありません。葉が落ちて樹形もわかりやすくなりますので、ご所有地内の樹木の様子を、是非ご確認下さい。

伸びた樹木・枝が当たって、ご自身の別荘や車が傷ついたり、お隣にまで迷惑がかかることがあります。林間別荘地だからこそ、相隣関係にもご配慮下さい。

林間別荘地の宿命

毎度おなじみの「落葉」についてです。弊社では、シーズンに一度、自社作業により路肩や路上にたまった落葉を片付けているほか、腐葉土の生産者の方に自主的な回収をお願いしておりません。しかしながら、そこから風に乗ってやってきては、降り積もる落葉はいかんともしがたいものがあります。

オーナーの皆様には、何かとご苦労かとは存じますが、林間別荘地の宿命として、どうかご寛恕下さい。

落葉や、篠、小枝については 日常のゴミとしては回収されません。落葉を片付けたい方は、九十リットル大の透明ビニール袋に入れてご持参いただければ、弊社にて無料で処分します。

但し、袋には**「乾いた」落葉のみ**お入れ下さい。濡れた落葉・草・枝の処分は有料です。（袋がご入用の方には、弊社にて一枚五十円で販売いたします。）

敷地内の、落葉さらいをご用命の場合は、その都度お見積のうえ承ります。

なお、風の強いこの季節、防火上から非常に危険ですし、相隣関係の観点からも焚き火は禁止とします。

お庭の落葉さらいは、有料となります

雪は無くとも滑り止め

十一月以降は、車に必ず滑止めを携行願います。

雪でなくても、朝晩の路面凍結時、ノーマルタイヤでは歯が立ちません。

降雪時期は、日陰に危険が潜んでいます。冬用タイヤへの履替えはお早めに。

日の当たらない路面はご覧の通り

モリコ温泉の源泉修理

モリコ温泉のご愛顧有難うございます。源泉ポンプが寿命を迎えますので、十一月中旬に交換工事の予定です。工事（休業）日程は決まり次第お知らせします。

二〇〇九年世界天文年

七月二十二日の日食をご覧になりましたか。

守子の郷の弊社事務所でも、いささか曇りがちの空ながら、母子愛の像の差し上げた手の先に欠けた太陽が見られ、徐々にあたりが暗くなる不思議な体験をすることができました。

この夏は那須高原の牧場でペルセウス流星群を観察する集いなど、世界天文年にふさわしいイベントもあり、別荘にお越しの方からも、夜空を楽しめるスポットについてのお問い合わせなどもいただきました。

今年は、ガリレオが一六〇九年～一六一〇年にかけて自作の望遠鏡で天体観察してから四百年。世界天文年です。これからの季節は、夜空も澄んで、天体観察にはもってこい。空を見上げるばかりでなく、星にまつわる話に団欒の時を過ごすのもお勧めです。

H21.7.22 守子の郷 母子愛の像

先ず、十月三日が旧八月十五日で仲秋の名月。芋名月とも言われる満月に、ススキと団子、今年採れた里芋を供えるのが流儀とか。

十月二十二日～二十四日は、世界規模で「ガリレオのタベ」という催しも企画されているそうで、望遠鏡で月と木星を見たガリレオの驚きを追体験しようというものです。当時ガリレオが自作した望遠鏡は二十倍程度のものだったそうですが、月のクレーターや、イオ、エウロパなど木星の衛星を発見、後に天動説を覆すことになりました。

木星といえば、スタンリー・キューブリックの映画「二〇〇一年宇宙の旅」、J・P・ホーガンのSF小説「星を継ぐもの」などに登場し、重要な暗示を与える存在となっています。「ジュピター」という英名もお馴染みですが、そのジュピターこそギリシャ神話の万物の創造主「ゼウス」に相当するというのも、なにやら秋の夜のファンタジーとして面白いのでは。

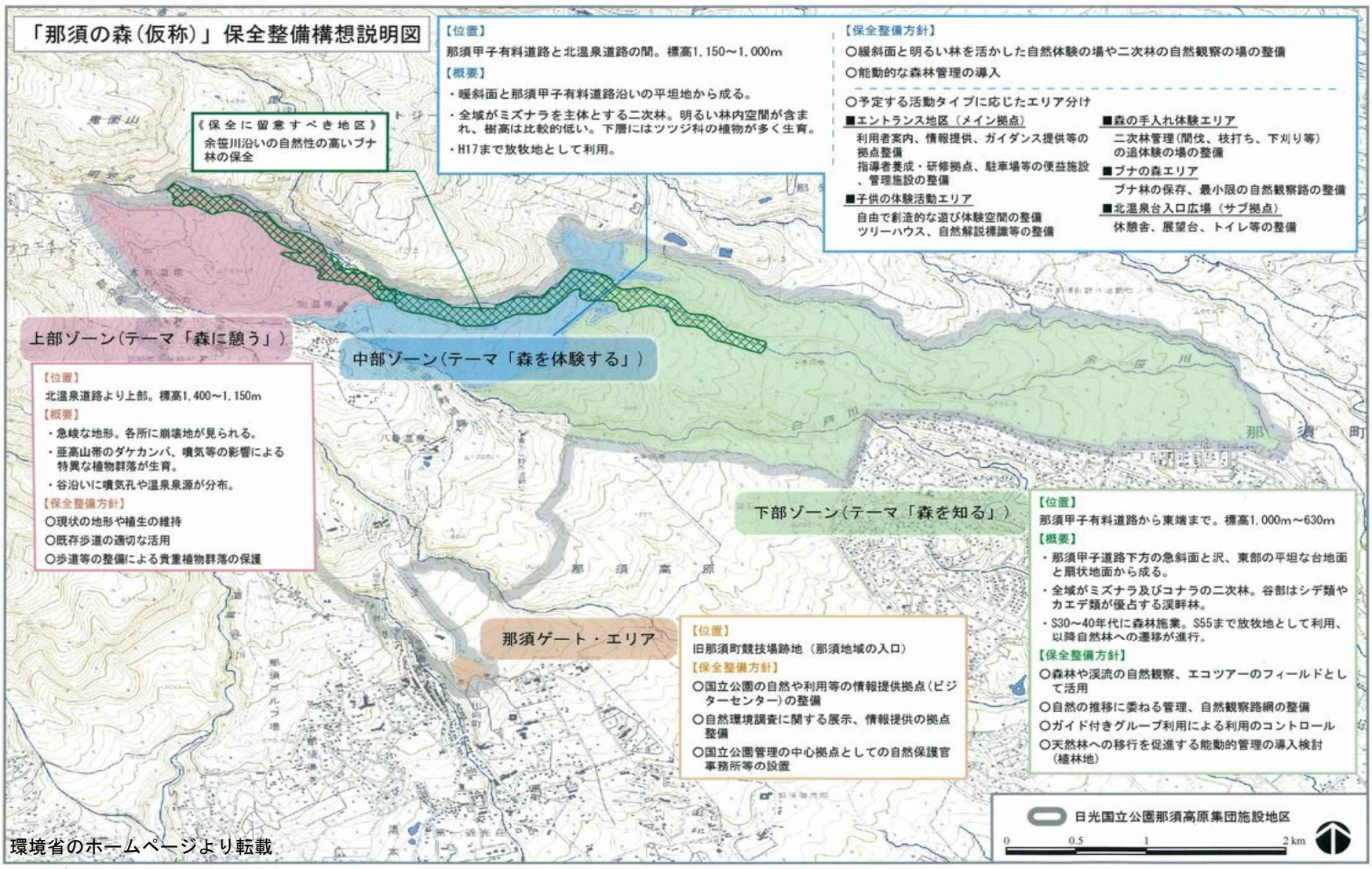
最後に、星に願いを。流れ星の情報です。

十月二十一日ごろ、オリオン座流星群
十一月五日ごろ、おうし座流星群（南群）
十一月十二日ごろ、おうし座流星群（北群）
十一月十八日ごろ、しし座流星群
十二月十四日ごろ、ふたご座流星群
十二月二十二日ごろ、こぐま座流星群。

くれぐれも、寒空に風邪を患かないように万全のお支度でご覧ください。

ありのままの那須の自然と触れ合う。

平成二十年春に宮内庁から環境省へ移管された旧那須御用邸用地については、天皇陛下御在位二十年を記念して、広く国民が直接自然にふれあえる場として活用するため、日光国立公園「那須の森（仮称）」として保全整備されることになりました。これまでに環境省から公開された資料などをもとに、その概要をご紹介します。



環境省のホームページより転載

移管されたのは御用邸用地千二百二十二ヘクタールのほぼ半分となる約五百六十ヘクタールという広大な地域です。環境省では保全整備構想のポイント＝基本方針として、

一、自然体験、自然学習、自然と人間の共生のあり方を学ぶ場とする。

二、自然特性を踏まえたゾーン区分とし、保全整備する。

三、自然環境モニタリングを実施し、成果を管理等に反映する。

四、二次林の維持管理のための能動的管理を行う。

五、自然ふれあい推進の指導者養成の全国的な拠点として整備運営を図る。

の五点を挙げています。

「那須の森」は、おおむね落葉広葉樹林で、標高などによりダケカンバ、ミズナラ・コナラ、ブナ、クマシデなどの植生域に分かれています。確認されている動植物は、栃木県立博物館の調査によると、哺乳類二十種、鳥類七十九種、両生類は虫類十七種、昆虫二〇九一種、植物九〇八種で、環境省のレッドリストに掲載された希少種も少なくないということです。

昨年四月、移管地を含む日光国立公園内の那須甲子・塩原地区を所管する那須自然保護官事務所が湯本に開設され、平成二十一年度に整備事業の基本設計と実施設計を行い一部事業着工、平成二十三年度中に一部供用開始される工程となっています。

開放区域内は、三つのゾーンに大別されます。

上部ゾーンは「森に憩う」をテーマに、現状維持を基本とし、既存歩道の適切な活用を図ります。

中部ゾーンは「森を体験する」がテーマで、活動的な自然体験、二次林の自然観察、能動的な森林管理の場となります。

下部ゾーンのテーマは「森を知る」で、自然性の高さを活かした自然観察、エコツアーのフィールドとして利用されます。

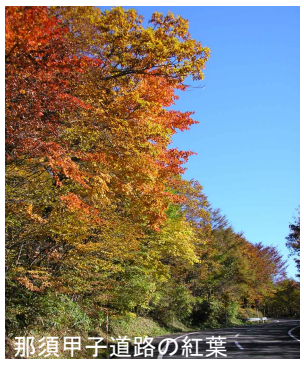
なかでも、中部ゾーンは開放のメイン区域となり、フィールドセンターの設営、駒止ノ滝観漠施設、北温泉駐車場の拡充整備、遊歩道の設置などが検討されています。那須御用邸時代に御散策路として使われていた歩道の一部や皇族方の御休憩所として使われていた清森亭もあります。

十月末から十一月上旬には、天皇陛下御在位二十年慶祝行事として、環境省関東地方環境事務所主催の自然観察会も開催される予定です。貴重なブナ林を間近に楽しみながらの散策がかなうことになりました。（参加申し込みは、九月十日に締め切られています。希望者多数により、十二倍を超える抽選となったそうです。）

十月三十日から、那須高原有料道路が無料に

昨年の那須甲子道路に続き、ボルケーノハイウェイとして親しまれてきた、那須高原有料道路が無料化されます。

茶臼岳の東南山麓を一周しながら、表情豊かにな那須連山の山々を仰ぎ見たり、展望台から下界を一望したり、ツツジに紅葉と四季折々の那須が、いっそうお手軽に楽しめるようになります。


那須甲子道路の紅葉

パークアンドバスライド社会実験を実施
10月9日（金）、10日（土）、11日（日）

専用駐車場にマイカーを停め、有料シャトルバスで奥那須へ送迎しようという試み。那須高原有料道路内のマイカーは反時計回りの一方通行のみ、大丸駐車場および山頂への道路はマイカー進入禁止に。

「那須の紅葉は見たいけれど、あの渋滞では気が引ける」という話をよく聞きます。那須高原の交通渋滞解消は、これまでも官民一体となって取り組まれてきましたが、観光客にとっても地元にとっても、うまく収まる妙手がなかなか見出せません。

既に、上高地や尾瀬、日光などでは、マイカーの乗り入れを規制しバスによる観光客輸送が定着。今回、那須高原でも、自然保護の観点や、渋滞緩和と観光周遊性の向上による地域活性化の両立を目指した社会実験が、紅葉のピークに合わせて実施されています。

駐車場は湯本側に２箇所、大島側に２箇所設けられ、利用料５００円（小学生以下は無料、１日フリーでレジャー施設割引特典付）のシャトルバスで大丸駐車場、ロープウェイ乗り場へ送迎するものです。

問合わせ先は那須町企画財政課（電話：０２８７－７２－６９０６）

冬支度時期の、お役立ちチェックポイント

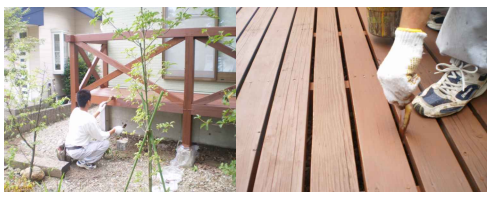
■デッキの点検：デッキの下に舞い込む落葉が気になる季節。美観を損なわず落葉を防ぐ手立てに、ネット施工はいかがでしょうか。

メッシュ素材を使用しますので、通気性は問題ありませんし、金網施工の場合と異なり

隙間からの侵入も防げます。

また、降雪期を迎える前に、デッキの床下や建物との接合部分をよく点検してください。再塗装などのメンテナンスをしていても、雨水が回ったり雪が凍りついたりして、長年の間には腐朽していきます。手摺の柱の根元なども同様です。床板の劣化は乗ったときに判りますが、デッキの下回りはなかなか気づきませんので、冬支度の際に、じっくりと見てみましょう。

実は根太腐り



デッキそのもののリフォームについては、従来のツーバイ材のほか、最近人気の南洋材や樹脂系素材、アルミ系素材と種類豊富です。建物との兼ね合いも含め状況や用途に応じてご検討下さい。

ウリン製デッキ施工例

南洋材は、東南アジアや南米の熱帯で育った耐水性の高い材料で、産地によりウリン、イペ、アマゾンジャラなど異なる木材があります。物によっては品薄で、価格も上昇気味です。弊社にて、部材のサンプルを用意しておりますし、施工例もご覧いただけます。

■年末年始にそなえ、畳替え：秋の乾燥時期となり、畳替えに適してまいりました。別荘の畳は、ご利用頻度だけでなく、湿気の多い那須の土地柄もあって、思ったより傷みが進んでいる場合があります。

新床にするか、表替えで済ますか専門職人が見立もいたしますので、ご気軽にご相談下さい。室内の湿気でお悩みの向きには、好評のルームドライヤーの設置をお勧めします。

■稼動１０年を越える湯沸かし器に注意：機器を丁寧にお使いになることは、素晴らしいことです。適切なメンテナンスも、機械の寿命を左右することはいうまでもありません。

ただし、故障修理や消耗部品交換については、メーカーサポートが打ち切られていたり部品製造中止で、修理するのに思わぬ時間がかかりますことをご承知おきください。

また、古い家電品が発火する事故などで注意喚起されてますとおり、古いものの良さとリスクは隣り合わせです。